

山東省徳州市のご紹介

山東省徳州市人民政府上海事務所より以下の紹介資料を入手しましたので、掲載し皆様の参考に供します。

(山東省徳州市位置)



1. 徳州及び開発区概要

(1) 徳州市概要

徳州市は山東省の北西部、河北省と山東省の境に位置しており、総面積1万平方キロメートル、総人口540万人である。東は渤海に面し、北は北京・天津、南は済南、そして西は石炭基地である山西省へとつながっており、内陸地域と沿海地域、また華北地域と華東地域を結ぶ要所にあるところから、昔から、「九達天衢、神京門戸」と呼ばれている。京滬(北京-上海)鉄道と徳石(徳州-石家荘)鉄道は徳州で交差し、京広(北京-広州)鉄道、京九(北京-九竜)鉄道、青済(青島-済南)鉄道に繋がり、運送能力の強い主要鉄道網を形成している。更に建設中の京滬高速鉄道では、徳州市を通過してわが開発区内に駅の建設が予定されている。この高速鉄道が開通することにより、徳州市と華北、華中、華東地方との繋がりには更に緊密なものとなる。京滬高速道路、徳石高速道路が徳州市の南北と東西をそれぞれ貫いているほか、現在工事中の青太高速道路、徳煙(徳州-煙台)高速道路、徳商(徳州-商丘)高速道路など今後、徳州市

は高速道路が最も集中するところとなる。済南国際空港は中国の主要な現代的国際空港であり德州から120キロメートル離れている。日々のフライト数は80便程度であり世界各地を結んでいる。また德州からは済南国際空港までが1時間、天津港までが2時間、北京まで3時間であり、一方、高速鉄道を利用すれば北京まで1時間、上海まで4時間で行くことができる。徳州市への商品輸出入方面での主要港は天津港と青島港であり、徳州市から天津港までは230キロメートル、青島港までは350キロメートルの距離にあるが、この2つの港とも世界有数の良港として有名である。

(2) 徳州市経済開発区概要

徳州市経済開発区は1998年3月に山東省政府から批准された省レベルの経済開発区である。総面積は300平方キロメートル、計画面積は100平方キロメートル、既設工業団地面積は30平方キロメートルであり、人口は29万人である。德州経済開発区は「高い起点から建設し、高い標準で計画し、能率的に管理をする」という方針に従って、インフラ施設のために投入した経費は累計で21.2億人民元に達している。道路、供水、排水、電力、通信、暖房供給、天然ガス、ケーブルテレビ、インターネット、土地整備などの「九通一平」は整っている。現在までに開発区に進出した企業数は716社、投資総額は615.4億人民元である。また生産を開始した企業数は503社であり、投資総額は456.3億元に達する。主要なところとしては、日本明治機械株式会社、三和電子有限公司、デンマーク風力発電設備グループ、ドイツ帕攀博格グループ、台湾メリダ自転車グループ、德州徳工グループ、波司登グループ、上海光明乳業グループ、河南双彙グループ、皇明グループ、山東魯銀投資グループ、山東將軍グループ、香港華宇グループ、韓国宇星飼料株式会社、韓国逸真電子株式会社、韓国厚成電子株式会社など著名国内外企業が既に開発区に進出している。德州経済開発区は山東省政府から「山東省優秀開発区」、「山東省優秀公務員集団」等称号を授与されている。

2. 日系企業に対する優遇措置等

(1) 土地

- ・外資企業の場合には開発区管理委員会は企業の規模や投資額、製品技術力などを踏まえ検討し、より優遇した土地価格を提供することができる。
- ・土地使用権の譲渡政策を実行しており、譲渡契約の期限は一般的に50年である。譲渡契約期限内において、企業はその土地の譲渡、貸出し、抵当或いは合法的相続人による相続の権力を有しており、譲渡期限満了後には更に期間延長を申請することができる。

(2) 税収

- ・外資企業から徴収した付加価値税の地方留保部分(付加価値税徴収総額の25%)は経営年

度から起算して2年内、財政から毎年奨励金として企業に返還する。

・外資企業から徴収した所得税の地方留保部分は黒字年度から起算して2年内は全額免除し、第3年目から第5年目まではその半額を徴収し、第6年目から第8年目までは毎年財政から地方留保部分の25%を企業に返還する。

3. 行政によるサポート

プロジェクトの審査批准に際しては代理サービスを提供する。企業が開発区への進出を決めると、開発区ではすぐに当該企業支援のためのプロジェクトサービス事務所を設置して関連プロジェクトの審査批准や企画建設などに対する責任を持つ。企業は全ての資料を提供した後、事務所が外資審査批准、工商登記、組織機構登記、税務登記、外貨管理、銀行口座、資金確認などの手続きを進める。

また当該プロジェクトの建設過程においても全面的なサービスを提供する。企業は開発区の総体企画に基づき自ら設計、入札、建設等を行うことができる。サービス事務所は企画許可証、施工許可証などの手続きを行い、必要に応じて設計、建築、監理などの関連部門を推薦する。また事務所ではプロジェクト入札式の手配や工事進捗、工事品質等についての監督や督促等方面での協力も行い、建築工程検査についても優先的に取り扱う。

更に経営期間全般を通じて「全天候サービス」を提供する。企業が正常な経営管理を行って企業独自のブランドを創出することを保証するために、徳州市政府及び開発区管理委員会は次の諸点において全面的な協力・支援を提供する。

(1) 投資環境について

徳州経済開発区は道路、水道、排水、電力、通信、暖房、天然ガス、ケーブルテレビ、インターネット、土地整備など「九通一平」というインフラ施設を完了することを保証する。

(2) 人力資源について

徳州市は企業に対して初級、中級、高級の各種技術者や中・高級エンジニアを提供することができる。徳州市には高級学校が4ヶ所、中等専門学校が9ヶ所、普通中学が267ヶ所、専門中学が23ヶ所あって、教育システムは非常に完備している。中でも徳州学院は国家教育部から批准された総合的な普通学部生学院である。経済学、管理学、工学、外国語、自動車エンジニアリングなど9つの学科があり、37の学部専門、15の専科専門が設置されており、在校生は15000名程度である。徳州市技術学院は国家社会労働保障部から批准された「国家重点高級技工学校」である。機械、電気工程、電子ビジネス、化学工業等20の専門を設置しており、1万人以上の学生を擁し、企業のために高級技術者を養成し提供している。山東華宇職業技術学院は華北地方で最も大きな高等職業技術学院である。デジタル制御技術、工業自動化、マ

ーケティング、国際貿易等の専門分野が設けられており、在校生は1万人余、企業のために多方面にわたる人材を養成し提供している。

(3) 資金融資について

徳州市には四つの国有銀行、株式制銀行があり、企業とパートナーシップを結び個別企業発展のためにサービスや資金支援を提供している。

その他、企業が建築途中や経営期間中において何か問題に遭遇した場合には、行政は誠実に積極的に問題解決に向けて協力し、企業の良い経営環境を作り出すことを目指している。

4. 徳州の対日交流

中国の積極的な改革・開放の実行に伴い、徳州市の対外開放も著しく発展してきた。アメリカ、日本、ドイツ、韓国などから多くの企業が既に開発区へ進出してきており、世界の先進国との経済関係が日増しに深くなりつつある。また1993年以来、徳州市では毎年30名の研修生を日本に派遣して日本の先進技術を学んでおり、その数は現在までの累計で300名余りに達する。これら研修生は中国企業の中堅として活躍するとともに、中日両国の友好を促進する使者ともなっている。また2010年11月には徳州開発区訪日代表団が東京、大阪、神戸、名古屋において「中国徳州訪日投資説明会」を開催し成功を収めている。徳州経済開発区管理委員会では「他の開発区が提供する優遇条件は徳州開発区も同様に提供する」ということを責任をもって約束するものである。

徳州市へのご来訪や皆様からのご連絡をお待ちしています。


上海事務所長 後藤雅彦

ご連絡・お問い合わせ先

山東省徳州市人民政府上海事務所 担当者:孫志国 (日本語可)

TEL 021-64063745

Email sunzhiguo-1977@163.com

<p>日本が生んだ世界のスポーツ</p>  <p>KEIRIN</p>	<p>この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。</p> <p>http://ringring-keirin.jp</p>
--	---